

KOMEI OTA

発行／大田区議会公明党(大田区蒲田5-13-14 TEL.5744-1488)

福祉の財源確保のため産業振興を強力に支援

第二回定例会の
質問から

去る6月7日から6月18日まで、区議会第二回定例会が開催されました。代表質問には高橋博議員、一般質問に古山昌子議員、岡元由美議員、勝亦聡議員が登壇し、行政改革、産業振興、教育、子育て、福祉、災害対策などの角度から質問、提案、要望いたしました。

代表質問／高橋議員



〈区の諸課題〉

問 今回の基本構想・基本計画の策定で、空港、埋立地、大森、蒲田の4核、または3核プラス埋立地、山の手の2地域に見直してはいかがか。

答 空港及び臨海部は大きな可能性を持った場所と考え、10か年計画で検討する。

問 大田ブランドを携えて国の内外へトップセールスする考えはあるか。

答 先頭に立って国内外にアピールする。

〈区産業の活性化〉

問 12年経過した産業ビジョンを新たに新産業ビジョンとして策定してはどうか。

答 基本構想、10か年計画との整合性を考慮し検討する。

問 空港の国際化、跡地活用をどう産業の活性化に結び付けていくのか。

答 人、金、ものの流れを活性化につなげたい。

問 商店街活性化のため

めに一番大切なことはなにか。また、どのようなサポートが必要か。

答 顧客ニーズを的確につかみ、サービスの向上を図ることが最も大切と考える。今年度は専門家を商店街に派遣する商店街再生支援事業を充実する。

〈住宅施策〉

問 住宅支援の基本的な考えを伺う。

答 住宅の供給は借上型を主に進める。

〈羽田空港跡地問題〉

問 区長の持つ人脈、外交力を発揮し、近隣自治体と交渉して協同・互惠体制をとるべきと考えるがどうか。

答 区としての主張を堅持しつつ精力的に取り組む。

問 跡地活用や蒲蒲線の実現に向けての世論を形成するための意見広告はどう考えているか。

答 区の広報媒体の活用を積極的に行う。

一般質問／古山議員



〈理想のリーダー像〉

問 区長の考える理想のリーダーは誰か。

答 織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の3人であり、それぞれの長所をミックスし、最適なリーダーシップを発揮したい。

〈年金相談窓口の拡充〉

問 社会保険労務士による年金相談窓口の回数、時間を拡大してほしい。

答 前向きに検討する。

〈住宅政策〉

問 新婚世帯や子育て世代に対し家賃助成を検討してほしいか。

答 今後検討すべき課題と考える。

問 シルバーピアの増設にあたり、高齢者に加えファミリー世帯も入居でき世代間の交流ができる共生住宅タイプも検討してほしい。

答 大きな敷地が必要であり、その機会には検討する。

〈認定こども園〉

問 平成21年度に廃園になる区立幼稚園を認定こども園にする考えはあるか。

答 廃園後はこども園関連施設として活用を考えている。

〈商店街活性化〉

問 女性の視点という観点から「女将さん」を視野に入れた商店街活性化策に取り組んでほしいか。

いかがか。

答 経費への一部助成を行うなど今後とも支援する。

一般質問／岡元議員



〈コミュニティバス〉

問 区民の自由な発想、民間の知恵が必要ではないか。

答 課題はあるが、バスを必要とする区民と協働して実現を図りたい。

〈食育の推進〉

問 都に対し栄養教諭配置の働きかけはしているか。

答 学校栄養職員の全校配置を優先すべき課題ととらえ実現を強く要望している。

問 文化センターでの調理教室への参加や、近隣空き地を利用しての農業体験をしてはどうか。

答 行事に参加し地域とのつながりを深めることは好ましいと考える。空き地の活用は学校や地域の実情を踏まえ対応する。

一般質問／勝亦議員



〈限度額適用認定証〉

問 認定証による医療費負担軽減制度を区独自で通院医療費にも制度化できないか。

答 継続的に高額の通院医療費が必要な方は、高額療養費貸付制度でお願いしたい。

〈妊婦健診の公費負担〉

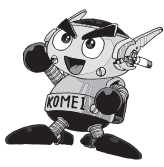
問 公費負担の妊婦健診を5回以上にできないか。

答 関係機関で健診回数等を検討しており、その結果を踏まえた実施を考えている。

〈総合体育館基本計画〉

問 計画に温水プール等は困難ならば、民間との契約で区民が低料金利用できる制度はできないか。

答 計画敷地に制約もあり、選択し難い。民間との補助等は慎重にすべきと考える。



いつもいきいき安全生活づくり

健康で安心して暮らせるまち

■麻しん(はしか)の感染拡大防止に対する緊急対策の実施

現在区内でも、麻しん(はしか)患者が増加しており、感染拡大防止のための緊急対策として、下記のとおり無料で予防接種を実施します。

●**公費負担対象者**：大田区民で、麻しん(はしか)にかかったことがなく、かつ、これまでに麻しん、MR(麻しんと風しんの混合ワクチン)、MMR(麻しん、おたふく、風しんの混合ワクチン)の予防接種を一度も受けたことがない方で、次のいずれかに該当する方。

- ①法定接種期間外の2歳から5歳までの児童
- ②小学校2年生から高校3生まで(平成元年4月2日生から平成12年4月1日生)

●**無料接種期間**：平成19年6月1日(金)から平成19年7月31日(火)まで

●**予診票の配布方法**：公費負担対象者で、区内の保育園、幼稚園、小中学校及び高校に通園、通学している方は、学校等を通じて交付します。

公費負担の対象で予診票がない方は、母子健康手帳持参のうえ、計画調整課保健調整係又は各地域行政センター地域健康課で交付します。

母子健康手帳を紛失された方はご相談ください。(区広報より)

<お問い合わせ> 保健福祉部計画調整課 / 電話:03-5744-1264

豊かな暮らしを目指すまち

■区民相談室の社会保険労務相談の拡充がされます。

現在、社会保険労務士による、健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険など社会・労働保険に関することを区民相談室で月2回第1・3火曜日に行なわれています。年金問題等ご相談も増えることが見込まれています。公明党の提案で、回数を増やし毎週火曜日(10:00~16:00)となりました。

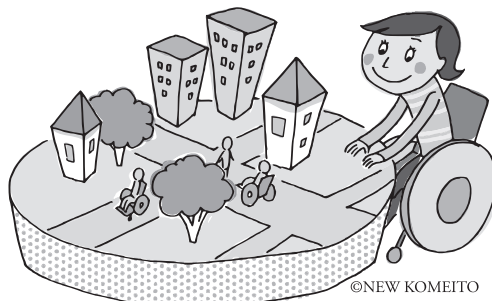


©NEW KOMEITO

障がい者が自立して暮らせるまち

■親亡き後の障がい者の居住の場を確保するため、ケアホームを整備します。施設の設置・運営は社会福祉法人が行ない、区は法人に区有地の貸与、施設整備費の補助を行ないます。(久が原1丁目)

介護を要する知的障がい者に、入浴、食事、排泄等の介護や日常生活上のサービスを提供する夜間居住の場です。



©NEW KOMEITO

子どもを安心して産み育てられるまち

■許可保育所の新築、改築及び認証保育所の整備助成により保育所の定員を拡充し、待機児の解消を目指します。

- ①雪谷保育園 平成20年2月 開園予定
- ②仮称：久が原一丁目保育園
平成20年12月 開園予定



©NEW KOMEITO

なんでもお気軽にご相談ください

区議会公明党

TEL 5744-1488
FAX 3730-2668

弁護士による無料法律相談を行なっています

第1、第3木曜日 午後2時から大田区議会公明党控え室で行なっています。
予約のない方の無料相談は受けられません。
当日正午より予約受付電話(☎5744-1488)を行なった上でおいで下さい。



溝口 誠
幹事長
総務財政委員会副委員長



荒川 善夫
生活産業委員会委員長



高橋 博
開発対策特別委員会理事



飯田 茂
副議長
都市整備委員会委員



富田 俊一
副幹事長
議会運営委員会副委員長



清波 貞子
都市整備委員会委員長



古山 昌子
政調会長
羽田空港対策特別委員会副委員長



渡部 登志雄
監査委員
都市整備委員会委員



松本 洋之
防災・安全対策特別委員会副委員長



丸山 かよ
交通問題調査特別委員会委員長



岡元 由美
子ども文教委員会委員



勝亦 聡
健康福祉委員会委員